

胃の手術を受けられる患者様へ

胃癌パス（全摘）【07002-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No.1

日付 入院日数 イベント	／ ～ ／ 1日目 入院日～手術前々日	／ 2日目 手術前日	／ 3日目 手術当日:手術前
目標 毎日看護師 と 評価します	☐ 入院生活についての疑問・不安を言える ☐ 看護師からの手術前説明を理解できる	☐ 看護師からの手術前説明を理解できる 	☐ 看護師からの手術前説明を理解できる
活動 範囲	☐ 特に制限はありません ☐ 入院中はリハビリを実施します 		☐ 点滴を開始した後も手術室に行くまでは自由です (点滴が落ちていないなど何かがあったことがあれば知らせてください)
食事 飲水	☐ 病状により、制限させていただく場合があります	☐ 昼食を食べた後は食べることができません（水・お茶・スポーツドリンクは可） ☐ 麻酔科の医師の指示で水分摂取の可能な時間が決まります それまでは飲んでかまいません	☐ 食べることはできません  ☐ （ ）時まで、水・お茶・スポーツドリンクは飲めます ☐ 飲んだり食べたり出来ない時間に口が渴いた場合はうがいをしてください
清潔	☐ シャワー浴ができます 	☐ シャワー浴をしてください 看護師と時間を調整します 	
治療 ・ 処置	☐ 血液をさらさらにするお薬を内服している方は医師の指示で点滴を行います 	☐ 10時 下剤を飲みます（水薬250ml）すっぱい味がします ・30分くらいかけてゆっくり飲んでください ・効いてくるまでに3～10時間かかります ・れに吐き気や腹痛が起こる場合があります ※その場合は看護師に知らせてください ☐ おへそのごみを取り除きます ☐ 内服薬がある方は（ ）日（朝・昼・夕）まで飲んでください ☐ 眠れない時は睡眠薬がありますのでお知らせください	☐ （ ）時 浣腸をします 便が出たら呼び出しボタンで知らせてください ☐ 手術前に点滴を始めます（2番目以降の方）  ☐ 手術室に行く前に指輪・時計・入れ歯・めがねなど身につけているものは外してください ☐ 血栓を予防する靴下を履きます（病棟で用意します） ☐ 手術室までは歩いていきます（ ）時頃 ※場合によってはベッドで行きます
検査	☐ 呼吸機能 ☐ 心電図 ☐ レントゲン ☐ 採血 をする場合があります ※外来で検査が済んでいない方が対象です ☐ 身長・体重測定 ☐ 毎日体温、脈拍、血圧を測定 (回数は状況に応じて決めます)   	   	
説明 指導	☐ 入院時に入院生活と治療計画書についての説明があります ☐ 喫煙されている方は禁煙しましょう ☐ 医師から手術についての説明があります （ ／ ）（ ）時 ☐ 看護師から手術前との処置について説明があります	☐ 麻酔科の医師、手術室の看護師の訪問があり、手術についての説明をします ハイケアユニットの看護師も訪問します ※時間がわからないのでなるべくお部屋でお過ごしください ☐ 処置やスケジュールなどわからないことは遠慮なくお知らせください ☐ ハイケアユニットに持参する物品を袋などに入れてまとめておいてください	☐ 処置については説明をしながら行います ※わからないことは遠慮なくお知らせください 

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

胃の手術を受ける患者様へ

胃癌パス（全摘）【07002-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No.2

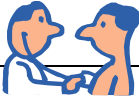
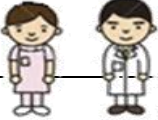
日付 入院日数 イベント	3日目 手術当日:手術後	4日目 手術後1日目	5日目 手術後2日目	6日目 手術後3日目	7日目 手術後4日目
目標 毎日看護師と評価します	☐ 体温、脈拍、血圧などが安定している ☐ 出血がない ☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になる ☐ ベッド上安静が保てる	☐ 体温、脈拍、血圧などが安定している ☐ 出血がない ☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になる ☐ 看護師の付き添いのもと歩行または車椅子に乗ることができる	☐ 鎮痛剤を使用して痛みが楽になる ☐ 排ガスがある ☐ 歩行または車椅子乗車ができる ☐ 出血がない ☐ 食事摂取の注意点がわかる	☐ 痛みが出ないように鎮痛剤を使用して活動できる ☐ 38℃以上の発熱や血液検査に異常がない ☐ 食事摂取の注意点がわかる	
活動範囲	☐ 翌日の回診までベッド上安静になります 自分で起き上がることはできませんが横を向いたり、手足を動かすことはできます	☐ 回診後から看護師と一緒に歩行または車椅子に乗車できます	☐ 積極的に活動しましょう 		
食事 飲水		☐ 医師の許可があれば水分をとることができます（水・お茶・スポーツドリンク） ※摂取可能な量の制限がある場合があります		☐ 昼食から重湯開始	☐ 昼食から3分粥 
清潔	☐ 温かいタオルで体を拭くことができます ☐ うがいや歯磨きをベッド上で行うことができます（看護師がお手伝いします）  	☐ ベッドの上で洗面、歯磨きができます ☐ 温かいタオルで体を拭きます ☐ 歩行が可能であれば髪を洗うこともできます 	☐ タオルで体を拭きます 	☐ お腹の管が抜けるとシャワー浴ができます 	
排泄	☐ 尿の管が入ってきます 違和感など不快な場合はお知らせください ☐ 排便の時はベッド上での排泄となります	☐ 排便時はトイレに行くことができます 		☐ 尿の管を抜きます	
治療・ 処置	☐ 心電図・酸素の数値を見る機械をつけます ☐ 酸素吸入をします  ☐ 点滴をします ☐ 血栓予防のためマッサージ器を足につけます ☐ 背中に痛み止めの管が入ってきます ☐ お腹に管が入ってきます	☐ 心電図・酸素モニターや酸素吸入を止めます ☐ 歩行ができれば足のマッサージ器や血栓予防の靴下を外します ☐ 点滴があります ☐ 背中の痛み止めを交換します ☐ 鼻の管を抜きます 	☐ 毎日回診があります 	☐ 回診時に背中の痛み止めを抜きます	☐ 点滴が終わったら針を抜きます 
検査		☐ レントゲン（ベッドの上で撮ります）、採血があります		☐ レントゲン、採血があります	
説明 指導	☐ 床ずれ予防のために体の向きを変えるお手伝いをします ☐ 肺炎予防のために深呼吸を行ってください 痰が出る時にはなるべく痰を出してください ☐ 痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします 	☐ 回診後、血圧などを見ながら元のお部屋に戻る準備を行います ゆっくりと体を慣らしていきますが、辛い時にはお知らせください ☐ 看護師と一緒に歩行します 腸の動きを良くする為に歩行することをお勧めしますが、体調に合わせて行います ☐ 痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします	☐ 痛みや不快な症状は我慢せずお知らせください 鎮痛剤を使用し、苦痛を軽減できるようにします ☐ 「胃の手術をお受けになる方へ」のパンフレットを使用して、手術後の生活注意点を説明します ☐ 腸の動きを良くするために歩行の必要性を説明します	☐ 食事を摂取する時の注意点を説明します	☐ 排便が定期的にあるように調整方法を説明します 

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

胃の手術を受ける患者様へ

胃癌パス（全摘）【07002-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No.3

日付	／	／	／	／	～	／
入院日数	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目～18日目	19日目
イベント	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後9～15日目	退院
目標	☐ 排ガス・排便がある ☐ 排便の調整方法を自分の言葉で言える	☐ 術後の胃の状態について理解できる	☐ 38℃以上の発熱や血液検査に異常がない	☐ 退院後の生活の注意点がわかる	☐ 退院後の生活の注意点を自分の言葉で言える ☐ 食事が摂取できる	☐ 退院できる 
活動範囲						
食事 飲水	☐ 昼食から5分粥 	☐ 昼食から7分粥 	☐ 昼食から全粥 	☐ 常食に変更できます 		
清潔	☐ お腹の管が抜ければシャワー浴ができます 			退院基準：重篤な合併症がない 食事摂取ができる		
排泄						
ケア				☐ 医師の許可があれば退院できます 	☐ 退院です 	
検査			☐ 採血があります 			
説明 指導				☐ 手術のときに提出している細胞の顕微鏡検査の結果は退院後の外来で医師から説明があります ☐ 退院後の生活上の注意点や体調が悪化した時の受診方法を説明します 		☐ 次回外来は ／ () です

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります